

環境活動レポート

2015年度

対象期間: 2015年4月1日～2016年3月31日



平城京大極殿正殿

奈良スバル自動車株式会社

作成: 2016年 8月1日

【1】会社概要

(1) 事業所名

奈良スバル自動車株式会社

(2) 所在地

〒634-0837 奈良県橿原市曲川町6-19-17

(3) 代表者氏名

代表取締役 高木 信一

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	代表取締役副社長	安井 光雄
事務局	総務部 部長	増田 衛昭
担当者	総務部 部長	増田 衛昭
連絡先	電話 0744-22-1331 FAX0744-24-5549	

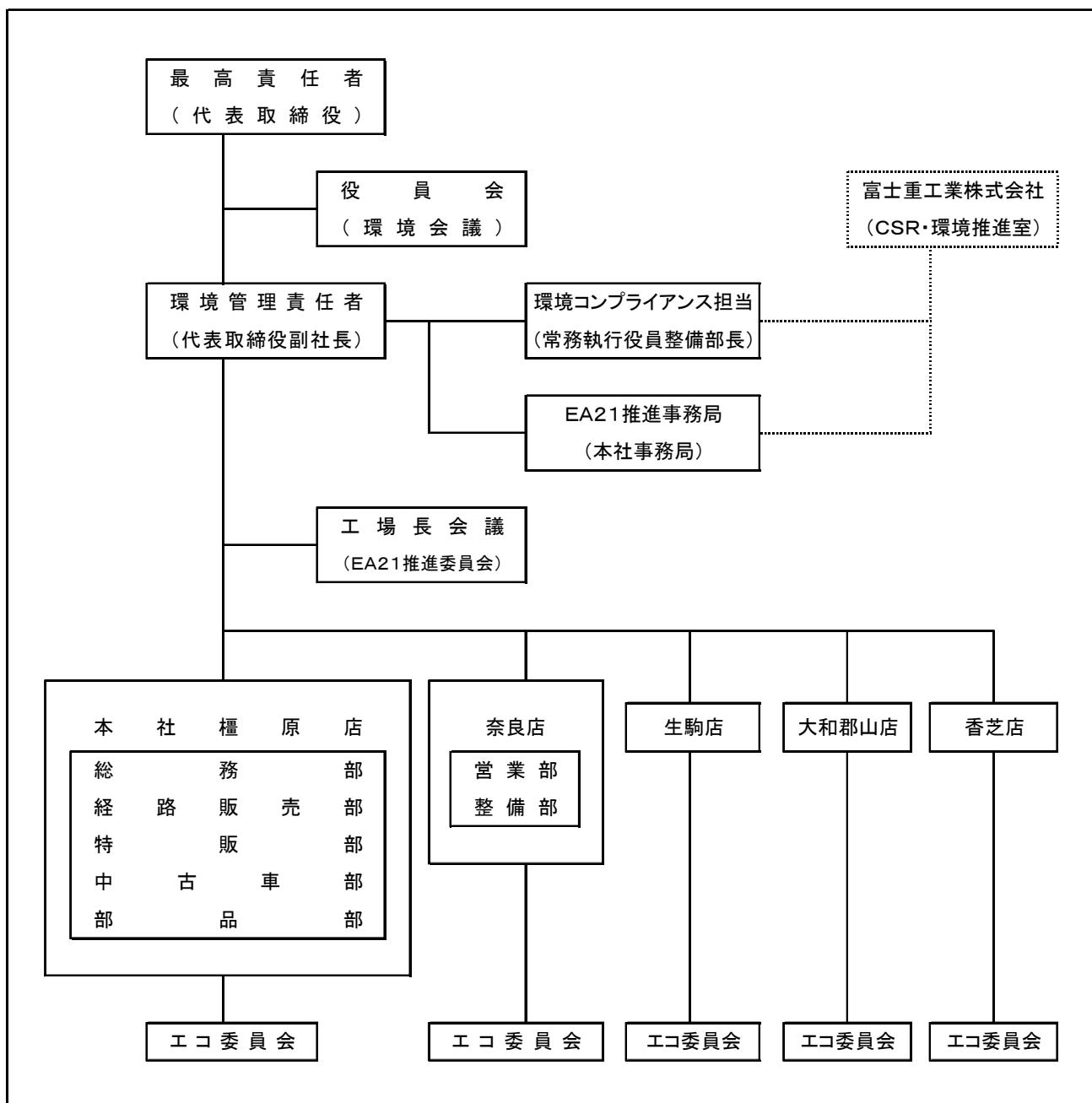
(5) 事業の内容

1. 自動車の販売 2. 中古自動車の販売 3. 前各号に関する部品・用品の販売
および修理 4. 自動車の整備 5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保障法
に基づく保険代理業

(6) 事業の規模

・売上高	5,722百万円(2015年度)
・新車販売台数	スバル 1,572台(2015年度)
・中古車販売台数	1,113台(2015年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	136人
・店舗数	スバル新車直販5 業販1 中古車1

(7) EA21推進組織図



(8) 事業所一覧・組織区分

事業所名		郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積(坪)		工場	組織 区分
							土地	建物		
1	本社橿原店	634-0837	奈良県橿原市曲川町6-19-17	吉田政彦	0744-22-1331	0744-24-5549	1,495.0	560.3	指定	A
2	奈良店	630-8014	奈良県奈良市四条大路1-4-56	木崎與二	0742-33-6451	0742-35-1275	2,047.0	616.0	指定	C
3	生駒店	630-0201	奈良県生駒市小明町2103-1	萱原正啓	0743-70-8555	0743-71-8530	418.5	283.3	指定	B
4	大和郡山店	639-1026	奈良県大和郡山市小林町西3-5-3	枡谷明良	0743-56-8282	0743-56-6332	212.1	95.3	指定	B
5	香芝店	639-0241	奈良県香芝市高148-2	歌川透	0745-78-1001	0745-78-1660	863.0	410.0	指定	B

工場資格で、指定は指定整備工場を示す

組織区分の意味

A=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務

B=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務

C=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務+钣金塗装

【2】環境方針

《基本理念》

奈良スバル自動車株式会社は、日本が世界に誇る歴史的文化遺産が数多く存在する奈良県において、その貴重な遺産をとりまく豊かな自然の維持の為、また住み良い生活環境の実現と優れた歴史にふさわしい環境に配慮した健全な経営を全社員が常に意識し行動します。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車および部品の販売、整備、保険代理業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 環境に配慮した車の販売を推進します。
2. 事業活動の全領域で、省エネルギー(CO₂削減を含む)、省資源、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
3. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
4. 適用される環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
5. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組みを行い、必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進(電力使用量、燃料使用量削減)
 - ②省資源(水使用量、紙使用量抑制)
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理(一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減)
 - ④化学物質管理の強化(PRTR法関連、VOC対策)
 - ⑤グリーン購入の促進
 - ⑥生物多様性の保全
 - ⑦エコ商品の販売活動
 - ⑧拠点周辺の清掃活動を行ない、地域の環境改善に貢献します。
6. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2010年1月15日 制定

2011年1月20日 改訂

奈良スバル自動車株式会社

代表取締役 高木 信一

【3】環境目標

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《エネルギー使用量》《廃棄物の排出量》の把握をし、削減活動に重点をおく。同時に、リサイクルの推進を積極的に行う。

(1) 環境負荷の状況と環境目標 *全社合計

項目	単位	実績	環境目標					
		2015年度	2014年 (基準年度)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電気使用量 (原単位指標) (削減率)	kWh	625,800	630,410 11.67	649,707 11.55 1%	643,145 11.44 2%	636,582 11.32 3%	630,019 11.20 4%	623,457 11.09 5%
燃料	ガソリン (原単位指標)	L	119,877	135,394 2.51	118,327 2.48	117,132 2.46	115,936 2.43	113,546 2.41
	灯油 (原単位指標)	L	5,539	8,636 0.160	8,695 0.158	8,607 0.157	8,520 0.155	8,431 0.154
	軽油 (原単位指標)	L	5,329	6,659 0.123	7,163 0.122	7,090 0.121	7,090 0.119	6,946 0.118
	重油	L	---	---	---	---	---	---
	LPG (原単位指標)	m3	181	645 0.037	929 0.037	919 0.036	919 0.036	900 0.036
	都市ガス (削減率)	m3	44	39.0	38.6	38.2	37.8	37.4
水使用量 (原単位指標) (削減率)	m3	8,436	8,529 0.158	7,808 0.156 1%	7,729 0.155 2%	7,650 0.153 3%	7,572 0.152 4%	7,493 0.150 5%
産業廃棄物(総排出量) (削減率)	kg	70,467	88,168	87,286 1%	86,405 2%	85,523 3%	84,641 4%	83,760 5%
産業廃棄物(処分量) (原単位指標) (削減率)	kg	5,078	5,186 0.115	4,538 0.114 1%	4,492 0.113 2%	4,446 0.112 3%	4,401 0.110 4%	4,355 0.109 5%
一般廃棄物 (削減率)	kg	17,735	19,700	19,503 1%	19,306 2%	19,109 3%	18,912 4%	18,715 5%
紙(コピー用紙)使用量 (原単位指標) (削減率)	kg	4,860	4,858 0.090	4,588 0.089 1%	4,541 0.088 2%	4,495 0.087 3%	4,449 0.086 4%	4,402 0.085 5%
化学物質排出量 (原単位指標) (削減率)	kg	32.5	38.5 0.713	38.1 0.706 1%	37.7 0.699 2%	37.3 0.692 3%	37.0 0.684 4%	36.6 0.677 5%
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	633,956	684,427	677,583 1%	670,728 2%	663,894 3%	657,050 4%	650,206 5%

(注)電力量から二酸化炭素への排出係数は、0.522kg-CO2/kWhを採用。(環境省2013年度排出係数)

(注)原単位指標は、2014年度の実績を同年の整備入庫台数+販売台数で割った数値を指標とした。

【4】主要な環境活動計画の内容

(1) 数値目標を達成するための取組

- ① 電気使用量削減
 - ・デマンド測定器導入による節電の実施
 - ・冷暖房の室温管理の徹底
 - ・グリーンカーテン実施による熱遮断効果の促進
- ② 燃料使用量削減
 - ・試乗車・サービス代車の効率的な活用による社用車台数の見直し
 - ・営業マンの計画的・効率的な活動による無駄な燃料の排除
 - ・社用車の低燃費車両への切替促進
 - ・エコ運転の推進(エコ安全ドライブ5か条の励行)
- ③ 紙(コピー用紙)の使用削減
 - ・コピー削減の努力→Eメール活用強化及びデータ化促進
 - ・裏紙の使用推進(細かくチェック実施、裏紙使用可の用紙の選別強化)
- ④ 水道水の使用量削減
 - ・洗車時使用の水量少量化の促進
 - ・日常使用の水量も極力少量での使用指示の徹底
- ⑤ 産業廃棄物の削減
 - ・マニフェストの完全運用及び管理
 - ・排出量削減の意識向上と手段の確立
 - ・分別再資源化の強化

(2) その他の取組

- ① 廃自動車部品のリサイクルの順守
 - ・リサイクル可能品の分別の徹底
- ② 低燃費タイヤの販売
 - ・商談の中に必ず商品の紹介販売促進を実施する
- ③ 公害防止装置洗浄剤の販売
 - ・お客様へのエコ取組の紹介と理解を求め、販売促進を実施する
- ④ 危険物保管量の見直し
 - ・法的遵守と適正在庫の徹底管理
- ⑤ 廃棄物保管場所の整理
 - ・散乱・流出防止のルール化と定期的な管理状況のチェックを実施
- ⑥ 緊急事態訓練の実施
 - ・各拠点年1回以上の防災訓練実施
- ⑦ 近隣への騒音対策
 - ・定期的なヒアリングと社員による周辺騒音状況チェックの実施
- ⑧ 自治会活動への参加
 - ・地域周辺の自治会清掃活動に積極的に参加
- ⑨ 環境関連法の順守
 - ・定期的に法改正の確認を実施し、適正に対応していく
- ⑩ 環境教育の実施
 - ・事務局及び各拠点エコ委員より、定期的な教育を実施していく
- ⑪ グリーン購入の促進
 - ・商品購入時は、必ずエコ商品の確認を実施し、優先的に購入していく
- ⑫ 生物多様性の保全
 - ・油類流出のこまめなチェック及び生物への影響度の確認を実施していく
- ⑬ エコ商品の販売活動
 - ・お客様への商談時はエコ商品を優先的に紹介販売していく

【5】環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 数値実績 期間(2015年4月から2016年3月まで)の実績

項目	単位	基準年度 (2014年度)	2015年度			
			削減 目標	目標指標	実績	削減率
					2015/4~2016/3	判定
電気使用量 (原単位指標)	kwh	630, 410 11. 67	1%	11. 55	10. 60	8. 2% ○
燃料	ガソリン (原単位指標)	L 135, 394 2. 51	1%	2. 48	2. 03	18. 1% ○
	灯油 (原単位指標)	L 8, 636 0. 160		0. 158	0. 094	40. 5% ○
	軽油 (原単位指標)	L 6, 659 0. 123		0. 122	0. 090	26. 3% ○
	重油	L ---		---	---	---
	LPG (原単位指標)	m3 645 0. 037		0. 036	0. 004	88. 9% ○
	都市ガス	m3 39. 0		38. 6	44. 0	-14. 0% ×
水使用量 (原単位指標)	m3	8, 529 0. 158	1%	0. 156	0. 143	8. 3% ○
産業廃棄物(総排出量)	kg	88, 168	1%	87, 286	70, 467	19. 3% ○
産業廃棄物(処分量) (原単位指標)	kg	5, 186 0. 096	1%	0. 095	0. 086	9. 5% ○
一般廃棄物	kg	19, 700	1%	19, 503	17, 735	9. 06% ○
紙(コピー用紙)使用量 (原単位指標)	kg	4, 858 0. 090	1%	0. 089	0. 082	7. 9% ○
化学物質排出量 (原単位指標)	kg	38. 5 0. 713	1%	0. 706	0. 550	22. 1% ○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	684, 427	1%	677, 583	633, 956	6. 4% ○

判定記号: ○期待値より大幅に達成 ○期待値レベルの達成 △期待値に若干及ばず ×未達成
原単位指標=当年使用量 ÷ (年度整備入庫台数×年度車両販売台数)で1台当りの使用量を出した数値

(2) 数値実績を達成するための取組み結果と次年度の取組

- ① 電気使用量の削減
 - ・電気使用量については、指標目標を達成することができた。エアコンの入替も随時実施したが、エコ商品が多くなってきており、省エネタイプを優先的に導入したことも良かったと思われる。
 - また、デマンド測定器をフル活用し、こまめに節電を実施したことも成果があつたと思われる。
 - 次年度も老朽化した機器については、早急に省エネタイプへの切替を促進し、使用量を抑制した取り組みをしたい。
- ② 燃料使用量の削減
 - ・燃料使用量については、殆どの項目において削減の成果があらわれ、目標を達成することができた。
 - 社員の燃料削減意識は高く、小さいことの積みかねが成果を生んだとも言える
 - 次年についても、エコ委員を中心に啓蒙活動を促進し、さらに削減効果ができるように取り組みたい。
- ③ 水道水使用量の削減
 - ・手洗い洗車時の水量調整等の工夫を実施し、削減することができた。
 - ・エコ委員を中心とした節水啓蒙活動で、全社員が節水を意識した結果、削減できた。
 - ・次年についても、継続的な啓蒙活動を実施し、節水意識を常に持つように社員教育をしていく。
- ④ 産業廃棄物(総排出量)の削減
 - ・排出量は削減することができた。売上減による影響もあったとは思われるが、耐久性の優れた商品を使用する事で、排出量の抑制はできると思われるので、そういった点を考慮し削減に努めていきたい。
- ⑤ 産業廃棄物(処分量)の削減
 - ・目標値をクリアーすることができた。売上減による排出量減もあったかと思われるが、適性に分別されて処分されているかも重要であり、その点も次期は強化して適性管理の徹底を指示していく。
- ⑥ 一般廃棄物の削減
 - ・毎年順調に削減効果は出ている。これは、環境への取組みが定着してきた事と、削減や再利用する事で、経営上の経費削減による利益向上にも大いに役立つ事を社員は認識している事の表れと判断できる。
- ⑦ 紙(コピー用紙)使用量の削減
 - ・使用量削減という点においては、契約上や個人情報の観点からシュレッター処分や焼却処分実施で、再利不可の部分が多く、目だった対策は打ちにくいところはあるが、ミスコピーの撲滅や使用後のコピー枚数のリセットの慣行促進運動が根付き、若干ではあるが削減することができた。
- ⑧ 化学物質排出量
 - ・使用についての必要性を的確に判断し、使用量の極力少量化に努めた結果成果が出たと思われる。次期も継続して削減に努めるよう努力する。
- ⑨ 二酸化炭素排出量の削減
 - ・昨年に対して、7.4%削減することができた。目標値対しても6.4%削減でき成果をあげることができた。取組項目のほとんどに成果を上げることができ、このまま次年度も取り組み成果を上げていきたい。
- (3) その他の取組結果と次年度の取組内容
 - ・ラベリング制度を活用し、低燃費タイヤの販売(全拠点)・車検時にエコ商品使用提案(全拠点)
 - ・自治会の清掃活動に参加(生駒店)、近隣保育園の児童学習依頼に対応(生駒店)
 - ・消防署の協力を得て消防活動・避難訓練の実施(全拠点)
 - ・小学校の廃品回収活動に協力(香芝店)
 - ・献血活動に参加(橿原店・奈良店)
 - ・自動的に周辺道路・駐車場の草刈・清掃活動(橿原店・郡山店)
 - ・エコマーク及びグリーン商品表示のある製品を優先的に購入した。
 - ・油水分離槽の清掃を定期的に実施し、各工場毎に排水に油等が流出していないかを定期的に自主点検した。
- (4) 次年度の取組の内容
 - ・次年度も環境活動計画に沿って推進する。

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項	順守状況	評価
水質汚濁防止法	特定施設の届出	排水設備、油水分離槽の届出済と管理者による定期処理及び点検の実施	○
下水道法	特定施設の届出	届出済と適正管理を実施	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、行政による定期的報告	適正業者と契約のうえ、法規に沿った分別及び適正に報告を実施している。	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出	届出済、表示及び保管管理について適正に実施している。	○
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量移動量の把握と記録、基準値以上の取扱量の場合に行政に報告	報告及び管理について漏れなく適正に実施している。	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	引取業者の届出済。適正に運営している。	○
騒音規制法	特定施設の届出(騒音発生施設)	届出済。騒音管理の実施	○
振動規制法	特定施設の届出(振動発生施設)	届出済。定期的振動測定の実施	○
浄化槽法	特定施設の届出	届出済。指定業者による汲み取り及び定期検査の実施。	○
フロン排出抑制法	フロン類製造から廃棄までの包括的な対策で、各段階の当事者に「判断基準」遵守を求める	設置されている空調機器の定格出力把握と簡易点検実施及び、必要時は専門業者へ依頼し点検実施している	○

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

【7】内部環境監査の実施と評価

全拠点工場で実施した結果、監査項目については適正に実施されていた事を確認した。

【8】代表者による評価と見直し

本年度の会社売上実績については、残念ながら一昨年の会社創立以来の最高売上よりは減額の成績となってしまったが、それでも高利益を確保できたことはうれしく思う。エコアクションについては、事務局からの報告でもあったが、過去の使用実績から導く目標設定は、売上の動向に対応できず売上が増加しているにもかかわらず使用量目標は削減しなければならないといった矛盾により、取り組みとしても限界にきていた。そこでアドバイザーの方に相談をし、本年度導入の原単位指数による管理に変更することにより、削減効果の判断がしやすくなった。全体的な使用量については削減できたと評価はできるが、その取り組みや施策を確認すると、社員の意識に頼っているところもあると判断でき、強力な事務局からの施策も無く対策もマンネリ化しているように思えた。次年については、評価方法も変更されたこともあり、取り組み対策も一新し、より成果の上がる内容を立案してほしい。

(店舗紹介)

奈良店



生駒店



香芝店



奈良店ショールーム



生駒店ショールーム



香芝店ショールーム



【9】活動事例

各拠点で工夫を凝らしたグリーンカーテンと緑を育て、光を調和させました。

【橿原店】



今年も拠点長力作のグリーンカーテンが完成しました。



きれいな花も咲きました。

【香芝店】



ショールームは、太陽の光を取り入れた構造とし節電効率を向上させました。



駐車場の一角で、夕顔の栽培をしグリーン化をはかりました。

社会貢献もさせていただきました。



橿原店と奈良店では献血に協力しました。



学校教育へも貢献させていただきました



奈良店では、中学生の職場体験学習の受入をしました。日頃は見ることのできない車の内部をみることができたり、また車の整備はどのようにして実施されるかなど、色々な良い体験ができたのではないかと思います。

消防訓練も実施しました。



郡山店では、火災発生時の消防署への通報訓練と、初期消火及び消火器の使い方について全員で確認しました。



生駒店でも、万一の事態に備えて全員参加で避難訓練と消火訓練を実施しました。